

環境活動レポート

2008年2月1日



弊社前の大枝垂れ桜

有限会社アルマスイフト

代表 松波 修

目次

 事業活動の概要	1
1. 事業者名	1
2. 所在地	1
3. 事業の規模	1
4. 事業内容	1
5. 環境管理責任者及び連絡先	1
 基本理念	1
 環境活動方針	2
<環境方針>	2
 環境目標とその実績	3
(1) 目標達成状況	3
「結果のまとめ」	4
(2) 今年度以降の目標	4
 主要な環境活動計画の詳細	5
(1) 数値目標を達成するための取り組み	5
1) 二酸化炭素排出量（省エネに関する取り組み）	5
2) コピー用紙の使用量	5
3) 廃棄物排出量（リサイクルへの取り組み）	5
(2) その他の取り組み	5
1) グリーン購入への取り組み	5
2) 外部委託の製作納品物に対して環境影響物の使用を制限する	5
 環境活動の取り組み結果の評価	6
(1) 数値目標を達成するための取り組み	6
1) 二酸化炭素排出量（省エネに関する取り組み）	6
2) コピー用紙の使用量	6
3) 廃棄物排出量（リサイクルへの取り組み）	7
(2) その他の取り組み	7
1) グリーン購入への取り組み	7
2) 外部委託の製作納品物に対して環境影響物の使用を制限する	7
 環境関連法規への違反／訴訟の有無	8
(1) 適用となる主な環境関連法規	8
(2) 違反／訴訟等の有無	8
 今後の強化取り組み事項	8

事業活動の概要

1. 事業者名

有限会社アルマスイフト
代表 松波 修

2. 所在地

〒431-3303
静岡県浜松市天竜区山東 2234-1

3. 事業の規模

従業員数：5名
事業所の延べ床面積：82m²

4. 事業内容

- ・各種マニュアルの企画、制作
- ・各種ソフトウェアの開発、サポート
- ・各種言語の翻訳
- ・その他上記に付帯する印刷物、マルチメディア製品の製作

5. 環境管理責任者及び連絡先

責任者：松波 修
連絡先：電話 053-922-3040
FAX 053-922-3041

基本理念

「全てにおいて最大より最高を目指す」

有限会社アルマスイフトは、マニュアル作成を通じ地域活動に貢献し、更なる発展に努めます。

企業の繁栄は環境との共存なしには考えられない時代になって来ました。

近隣住民に対して当社の環境負荷低減に向けた取り組みを公開するとともに、環境保全に関する地域の取り決めや要求事項に対して積極的に協力していくことを目標とします。

環境活動方針

有限会社アルマスイフトは、地域性及び環境への関連性を考慮して以下の環境方針を定め、全ての事業活動を通じて、地球環境保護活動に取り組みます。

<環境方針>

1. 事業を通じた地球環境保護

全ての事業活動において地球環境保護に寄与出来るように努めます。

2. 資源・エネルギーの効率的利用

資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への付加を認識し省資源、省エネルギー、リサイクル、そしてグリーン購入に努めます。

3. 環境関連法規の遵守

環境関連の諸法規及び弊社が同意した各種協定を遵守します。

4. 環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進

環境活動レポートを公表するなど、社内外に対して環境保護に関する情報の提供を行い、また啓発、教育活動を推進するとともに、地域社会の一員として地域・社会貢献活動を推進することに努めます。

5. 継続的環境改善の実施

環境保全に関する目的・目標を設定し、取り組み結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組みます。

具体的には年に一度（4月）環境活動に於ける年間成果を社員全員で確認し、次年度の目標作成と達成の為の具体的なアクション内容を決定して行きます。

平成 19 年 1 月 15 日制定
有限会社 アルマスイフト
代 表 松波 修

環境目標とその実績

2004年12月に社内の環境に対する認識及び状況を確認し社内調整を図り、2005年度からの年間の目標を下記の様に掲げ現在まで実践して来ました。

【目標】

- ・二酸化炭素排出量を前年度比5%下げる
- ・コピー用紙使用量を前年度比5%下げる
- ・コピー用紙以外の廃棄物を前年度比5%下げる

(1) 目標達成状況

当社は、2004年12月に上記で掲げた目標達成に向けて全社をあげて環境活動に取り組んで来ました。その実績内容を下記に示します。

(A)二酸化炭素排出量（電気、ガス、ガソリン使用量）について、エアコンの使用方法など省エネ化に徹した結果、前年度比目標の5%以上低減させることが出来ました。

当社における今年度を含めて過去5年間の実績は以下の通り。

二酸化炭素排出量

年度	2003	2004	2005	2006	2007
総量 (Kg)	8251.17	9439.37	8003.69	7087.83	6977.36

(B)コピー用紙の使用量について、2004年度にデータ校正化を推進した結果、2003年度比25%少なくすることが出来ました。2005年度以降も順調にデータ化が推移し前年度比目標の5%以上減を達成しました。

当社における今年度を含めて過去5年間の実績は以下の通り。

コピー用紙使用量

年度	2003	2004	2005	2006	2007
総量 (Kg)	252	201.6	176.4	158.5	168.0

(C)コピー用紙以外の廃棄物について2004年度のレベルから増加させない様、徹底した分別に努めた結果、前年度比目標の5%以上低減出来ました。

当社における今年度を含めて過去5年間の実績は以下の通り。

ゴミ排出量

年度	2003	2004	2005	2006	2007
可燃ゴミ (Kg)	67.6	67.8	62.8	52.15	50.2
不燃ゴミ (Kg)	42.5	44.1	41.0	36.4	28.0

「結果のまとめ」

2005年度からの二酸化炭素排出量については、計画通りの省エネに取り組んだ結果、5%以上減という結果になりました。

水道水使用量については、除湿器に溜まった水を利用しての樹木の水やり、トイレの二度流しをしない、節水ラベルを各所に張ることによっての省エネ意識の徹底を図ることが出来ました。但し、大家さんと共通メーターのため、今までは数値を把握することが出来ませんでした。今後の課題として数値提供を受け実数を把握出来るようにしていきたいと考えています。

コピー／プリンター用紙の使用量については、2004年度から進めていたデータ上での校正依頼や最終納品形態のデータ化などの取り組みが順調に進み、目標を上回り前年度比5%以上の低減という結果でした。

また、2005年度からの廃棄物発生量については、資源の分別に取り組むことにより、廃棄物を出さないようにする努力をしてきました。特に紙類は分別して保管し、地域の学校等で行われるリサイクルクリーン活動に協力するなどした結果、目標を上回り前年度比5%以上の低減という結果になりました。

全体的に5%以上という目標を上回る結果を得ることが出来ました。今まで無駄を含め、かなりルーズにやって来た結果だと再認識しました。今後も無駄を省き継続的に環境負荷に関して低減に努めていきます。

(2)今年度以降の目標

二酸化炭素排出量、コピー用紙の使用量、コピー用紙以外の廃棄物について、これまでと同様2007年度までに前年度比2%低減させることを目標とします。さらに、2010年度までに毎年1%以上低減させることを目標として行きます。

二酸化炭素排出量

年度	2007(実績)	2008	2009	2010
総量 (Kg)	6977.36	6907.59	6838.52	6770.14

コピー用紙使用量

年度	2007(実績)	2008	2009	2010
総量 (Kg)	168	166.32	164.66	163.02

ゴミ排出量

年度	2007(実績)	2008	2009	2010
可燃ゴミ (Kg)	50.2	45.1	40.6	36.5
不燃ゴミ (Kg)	28.0	25.2	22.6	20.4

主要な環境活動計画の詳細

(1) 数値目標を達成するための取り組み

1) 二酸化炭素排出量（省エネに関する取り組み）

- ・ 昼休み等の消灯の徹底を計ります。
- ・ エアコンの設定温度を夏期は 28℃に冬期は 20℃に徹底し、常にエコモードに設定して必要以上に社内を冷やさない／暖めない様に徹底します。
- ・ 営業活動に伴う外出を効率化させ、社有車の使用を少なくして CO₂ の排出量を低減させます。
- ・ その他の節電、節水に対して全社員の意識の徹底をはかります。

2) コピー用紙の使用量

出力に共なうコピー用紙の使用量を少なくします。

3) 廃棄物排出量（リサイクルへの取り組み）

以下の分類を徹底して行います。

また、社員が個人的に持ち込んだペットボトル、缶類を各自に持ち帰らせ、リサイクルに対する考え方を再考させます。

紙類 : コピー／プリンター用紙、新聞紙、雑誌、

容器類 : ペットボトル、アルミ缶、スチール缶、瓶

(2) その他の取り組み

1) グリーン購入への取り組み

今年度以降に購入する物品に関してグリーン購入対象商品のついているものを優先して選択します。

プリンタ、コピー機のトナーは全てリサイクル品に変更します。

2) 外部委託の製作納品物に対して環境影響物の使用を制限する

印刷物に関して、フィルムを使用しない方式に切り替えます。また、印刷用インクを大豆等の植物インクを使用した物に変更します。

環境活動の取り組み結果の評価

(1) 数値目標を達成するための取り組み

1) 二酸化炭素排出量（省エネに関する取り組み）

- ・ 昼休み等の消灯の実施

昼休み編集室の全て消灯は徹底出来ました。

また仕事時間内でも使用していないデスク上の蛍光灯は消灯するということも徹底出来ました（各デスク上でON / OFF が可能な様に総合スイッチは廃止し、各蛍光灯ごとの紐スイッチに変更し、細かな対応を可能にしました）。

食堂において食事時でも天気の良い日は自然光を利用して消灯しました。

また、給湯ポットも昼食時 10 分前に必要分のみ沸かし、それ以外は電源を抜いておきました。

- ・ エアコンの温度設定を省エネ温度に徹底

夏期は屋根がトタン葺きのため、28℃では暑く 26℃の設定に変更しましたが、それ以外は順守出来ました。

また初夏や初秋の時期は仕事に差し支えない程度で冷房を切り、窓を開けて自然の風を利用しました。また極力軽装に心掛け冷房を使用する期間を短く出来ました。

冬期は暖房の設定温度は極力低くし、更に晴天の日はブラインドを開け自然の太陽光を入れて対応しました。また、床が板張りの為、足元が寒いのは膝掛け等を使用することによって暖房を使用する期間を短く出来ました。

- ・ 社有車による CO₂ の排出量低減の徹底

2005 年度社員が 1 名増えたため、燃料自体の使用量は軽微の減少にはなりませんが、減少という目標は達成出来ました。

更に適正運転に努める様、指導することが出来ました。

- ・ 節約（節電／節水など）に対する意識の徹底

節約に対する認識の低下を防ぐ手段として各要所にラベルを貼り、周知徹底させることが出来ました。

また、トイレのタンクにペットボトル（500cc）を 2 本入れて貯水量を調整したり、二度流しをしないように指導徹底したりしました。

2) コピー用紙の使用量

コピー用紙の使用量を減らすために、データでの納品を推進しました。また、必要に応じて「見開き出力」をスローガンに 1 枚に 2P 出力する縮小出力を採用して、出力枚数を減らすことが出来ました。

3) 廃棄物排出量（リサイクルへの取り組み）

地域柄、各家庭でも廃棄物の扱いは厳しく、したがって会社内では問題も無く受け入れられて徹底出来ました。

全ての雑誌、新聞は、地域小・中学校の廃品回収（リサイクルクリーン活動）を活用し処理しました。

また、地区の自治会に加入し地域活動がスムーズに運ぶ様、自治会費を納めると共に会員として草刈り等の地域活動に積極的に参加することが出来ました。

更に、地元老人会が推進して無料配布する「無洗剤タフシ」のパッケージの制作（デザイン含む）を無償バックアップさせてもらい、喜んでいただくことが出来ました。

(2) その他の取り組み

1) グリーン購入への取り組み

消耗品の購入はカタログ上でエコマークの付いた物を選び、またプリンタのインクは詰め替え可能な物に変更しました。

コピー用紙は無塩素パルプ（ECF）を原料とした物に切り替え、漂白過程で低公害／無公害に寄与する努力をしました。

2) 外部委託の製作納品物に対して環境影響物の使用を制限する

- ・ 印刷用フィルムを使用しない方式に切り替える。

外部委託している印刷物に使用しているフィルムに関して、フィルムレス化を徹底して2005年度中に完全に移行、現在完全データ渡しに変更しました。

- ・ 印刷用インクを大豆等の植物油脂を使用した物に変更する。

従来のインクには石油系溶剤が含まれていたため「SOY INK」を使用した無公害のインクに変更しました。

環境関連法規への違反／訴訟の有無

(1) 適用となる主な環境関連法規

- ・ 廃棄物処理法
- ・ 浄化槽法
- ・ その他、地区による廃棄物に関する条例

(2) 違反／訴訟等の有無

違反の指摘も皆無で、訴訟等も同様ではありませんでした。

また、関係機関、地域関係者からの苦情や指摘等もありませんでした。

法名	項目	違反及び訴訟等	備考
廃棄物処理法	分別・リサイクル	なし	
浄化槽法	点検業者委託	なし	

今後の強化取り組み事項

・ 社内のペーパーレス化に取り組む

更なるコピー用紙等の使用を押さえる努力をしていきます。(前述 P3~4 参照)

・ 現状結果の維持及び更なる進展への努力

環境保護に対して全従業員の意識の低下を防ぐ様に定期的に打ち合わせを行うシステムを作成していきます。